

ID:
 患者氏名：
 様

	入院当日	入院2日目～手術前日		手術当日	月 日	術後1日目	術後2～6日目		術後7日目	術後8日目～10日目程度(退院)						
	月 日	月 日		手術前		手術後		月 日	月 日～ 月 日		月 日～ 月 日					
目標	入院中の経過がわかる。		手術までの経過がわかる。 心身ともに手術を受ける準備ができる。			痛みのコントロールが できている。		歩行訓練が出来る。		歩行距離をのばす。		食事をむせることなく 摂取することができる。	食事のとり方、退院後の過ごし方が わかる。			
説明 指導	看護師より入院中の 説明を行います。 					ご家族に医師から手術 後の説明をします。		離床やリハビリの説明をします。肺炎にならないように 痰をだしてください。また、なるべく早期に歩いたほう が回復が早まります。 				CT検査を行います。問題が 無ければドレーン（管）を ベッドサイドで抜去します。		必要に応じて、退院前に栄養士が食事指 導を行います。		
	外科の医師から手術の説明を行います。 説明書や承諾書にサインをいただきます。 看護師より術前説明を行います。 											CT検査で問題が無ければ食 事を開始します。 				
治療 処置 点滴	必要に応じて歯科にて口腔内 のケアを行う方もいます。					6時頃と手術室入室前 に、血圧、脈拍、体温 などを測定します。		手術後は食事が開始されるまで点滴をします。						食事が安定してきたら、点滴を終了し ます。		
						生体情報モニターを装 着します。 		生体情報モニターを外し ます。								
検査	手術にむけて血液検査、X線 撮影、心電図、CTの検査等 をします。							血液検査、エックス線撮影等を適宜試行します。				CT検査を行います。		適宜血液検査、X線撮影があります。		
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続内服とします。 中止する薬がある時は説明いたします。			術前に常用薬を指示通 り内服します。			手術当日、術後は内服 を中止します。必要に 応じて点滴で代用しま す。		水分摂取開始後、医師の指示により内服薬を再開します。 							
生活 行動 安静度	特に制限はありません。禁煙です。 			： に、担当 医・看護師と手術室へ 移動します。それまで 病室で安静にしてい た だ き ま す。			ベッド上で安静にして いただきます。		ベッドの横で座ったり、立つ訓練をします。 ベッドの横で足踏みしたり、病棟内を歩きます。 歩行距離を伸ばします。 							
							下肢の静脈血栓予防の ためフットポンプで足 のマッサージをし ま す。									
排泄	下剤の影響で下痢をすることがあります。						手術室で尿の管が 入ってきます。		自力でトイレへの歩行が可能となれば尿の管を抜きま す。転倒に気を付けてトイレまで歩行してください。歩 行に不安があるときには看護師が付き添いますのでおっ しゃってください。							
清潔	シャワー浴ができます。 								体を拭きます。 		シャワー浴ができます。 				ドレーン（管）が抜ければ入浴が出来ま す。 	
食事	通常の食事を食べて頂きます。 基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食をお出しすることもあります。 手術前日夜まで食事を摂っていただきます。			何も食べられません。			飲水が可能となります。		腓臓を切った部分が落ち着く まで、お食事はお休みしま す。		五分粥，全粥、米飯と少しずつかたくなります。ゆっくりよく噛んで お召し上がりください。 					
				水分は当日 ： まで 飲むことができます。												
その他	院内禁煙となっております。 大部屋での携帯電話の使用はご遠慮ください。			付き添いは必要 ありません。			痛みや気分不快がありましたら看護師にお知らせください。						退院後に異常がありましたらすぐに ご連絡ください。			

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わることがあります